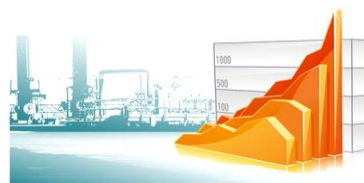


ぎふ経済レポート



令和8年6月分
岐阜県商工労働部

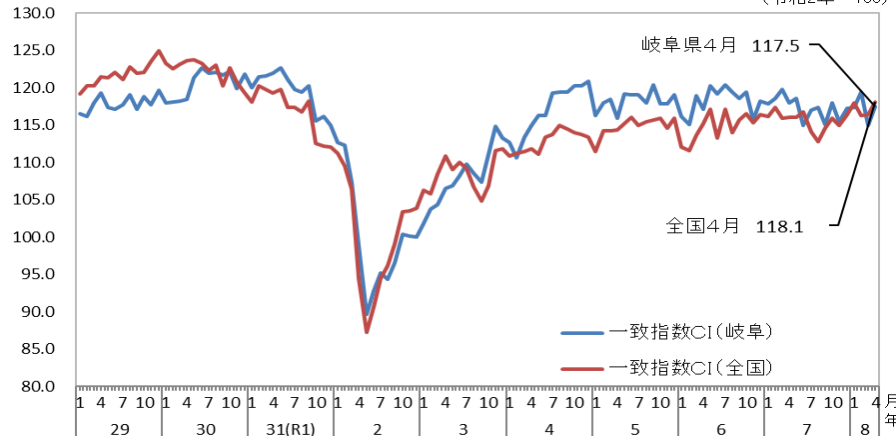
※企業等へのヒアリングは6月24日～ 26日を中心に実施し、7月17日時点で作成。

景気動向

○4月の景気動向指数(一致指数)は、117.5
で前月比1.5ポイント上昇となった。
○5月の県内中小企業の景況感は、▲24.0で
前月比3.0ポイント上昇となった。

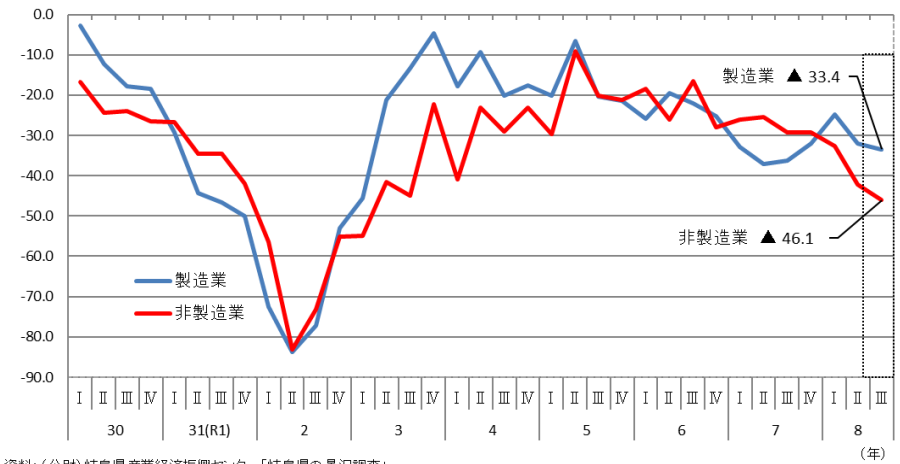
○7-9月期の景況DI見通しは、製造業で前期比
▲1.3ポイント、非製造業で▲3.9ポイント減
少となった。売上高DI見通しは、製造業で前期
比▲6.0ポイント、非製造業で同▲9.4ポイント
減少となった。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (令和2年=100)



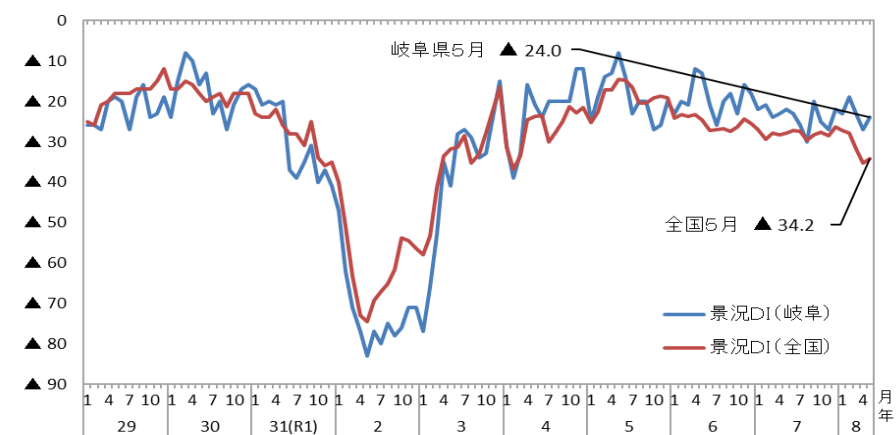
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



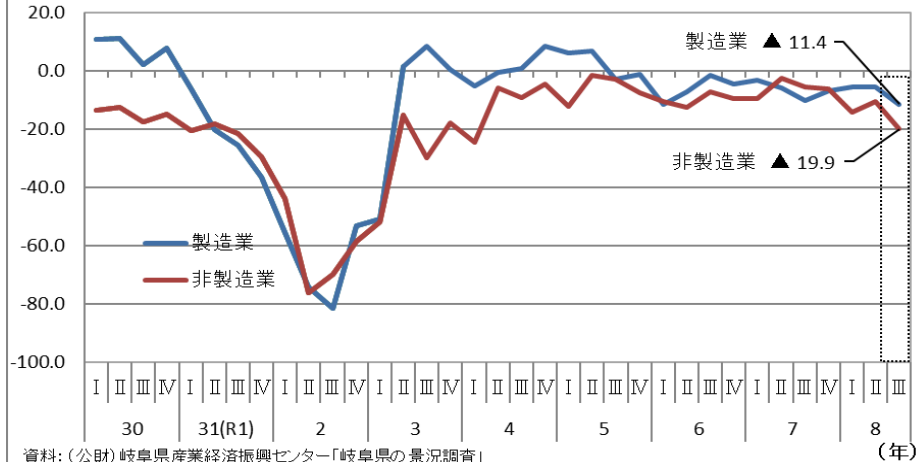
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移

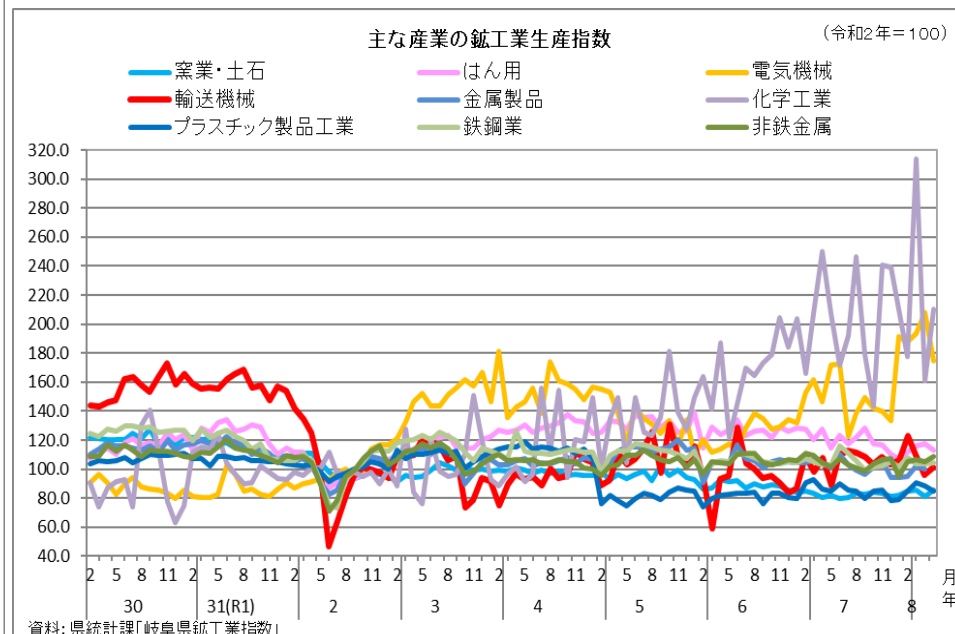
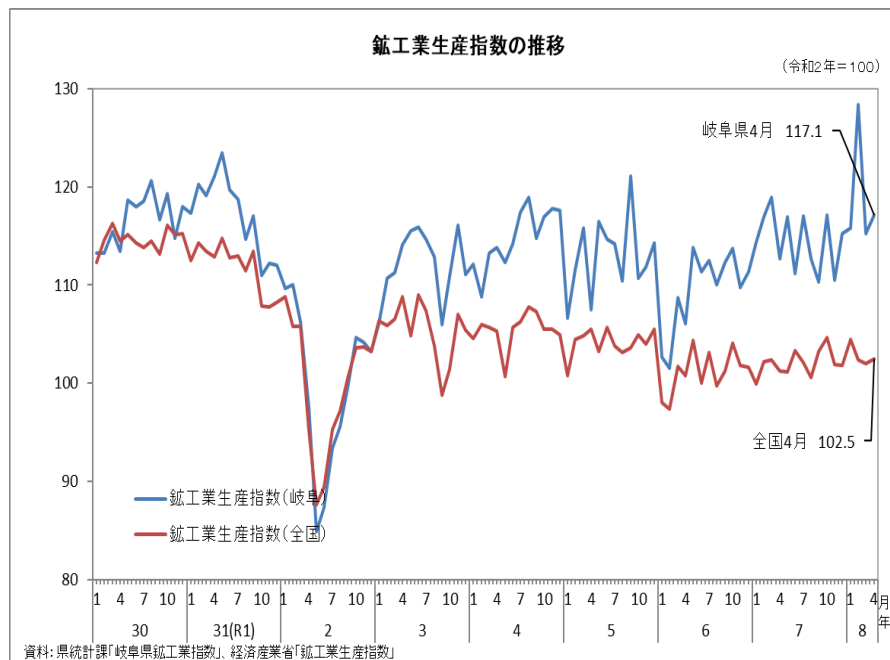


資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

製造業

○4月の県内鉱工業生産指数(季節調整済)
は、117.1で前月比1.6%上昇となった。
○4月の全国の鉱工業生産指数(季節調整済)
は、102.5で前月比0.5%上昇となった。

○4月の主な産業の指数は、化学工業で前月比
30.5%、窯業・土石で同5.4%、輸送機械で同
5.3%、非鉄金属で同3.6%、金属製品及び鉄鋼
業で同1.1%上昇した一方で、電気機械で同
▲16.3%、プラスチック製品工業及びはん用で同
▲3.6%となった。



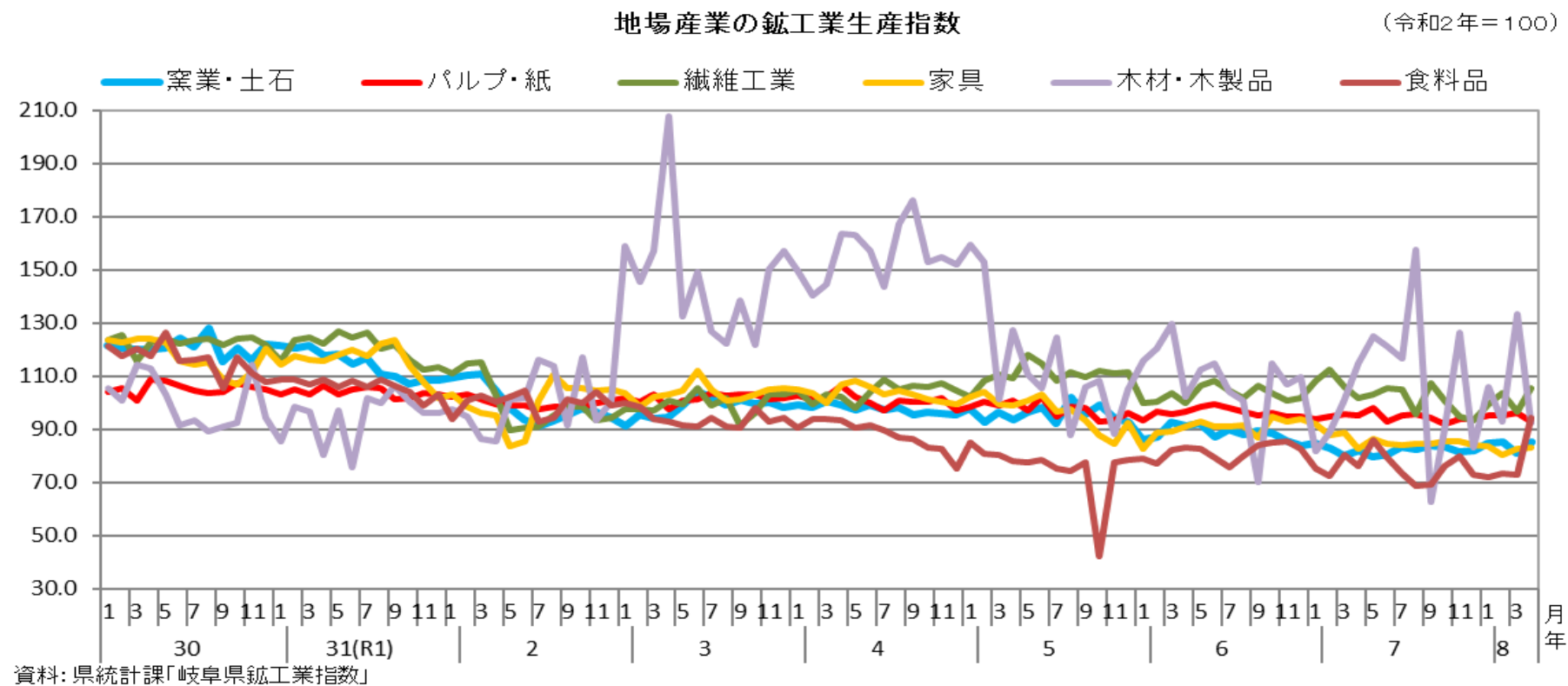
現場の動き

(※中東情勢に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 為替相場の恩恵を受け、売上対前年同月比は順調に推移している。(輸送用機械)
- ◆ 価格転嫁や製品構成の変化で利益は増加する見込み。(電気機械)
- ◆ 自動車部品については、業界自体の需要低迷に加え、中東情勢の悪化により出荷や売上に影響が出ており、苦戦が続いている。(輸送用機械)
- ◆ 新車開発がなく、新たな金型の仕事がない状況。(生産用機械器具)
- ◆ AIやロボット、半導体の盛り上がりが必要となり、工業機械業界は好調。(生産用機械器具)

製造業－2

○4月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、食料品で前月比29. 2%、繊維工業で同9. 1%、窯業・土石で同5. 4%、家具で同0. 8%上昇した一方で、木材・木製品で同▲30. 6%、パルプ・紙で▲3. 3%となった。



現場の動き

(※中東情勢に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ ここ数年間厳しい状況が続いた紡毛素材や丸編み関係に薄日が差している。(繊維・アパレル)
- ◆ 景況感は悪い。海外の取引が多く、昨年の関税の影響から出荷が思うように行えていない。(刃物)
- ◆ タングステンを中心とした鉄鋼関連の材料費の高騰が続いている。(刃物)
- ◆ 物価高や人口減少による市場の縮小を感じる。(パルプ・紙)
- ◆ 菓子業界においては、原料・資材価格上昇、国内市場の縮小により厳しい状況。(食品)

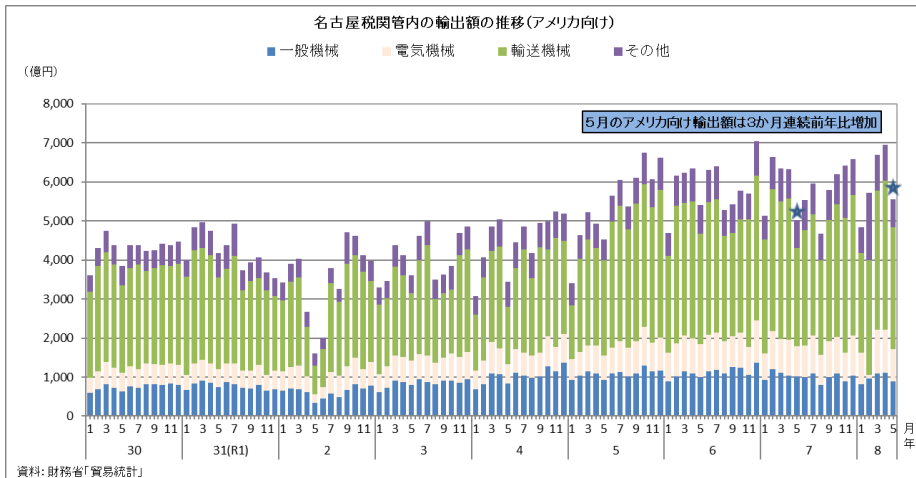
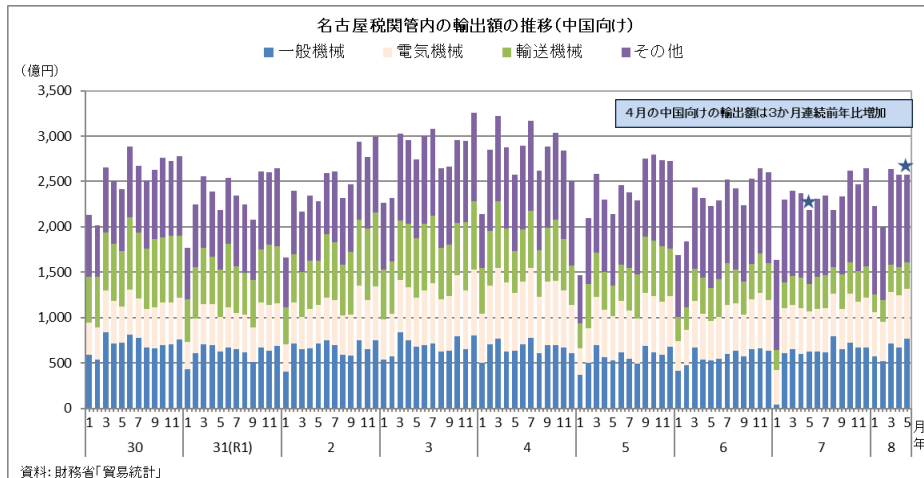
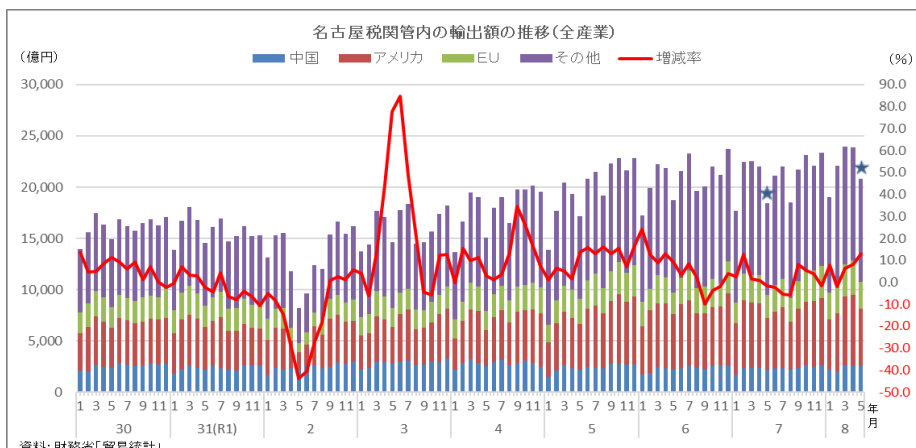
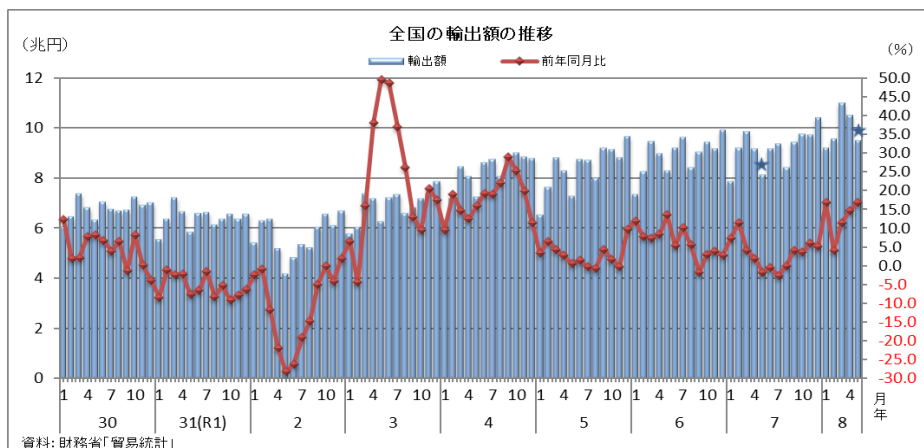
輸 出(名古屋税関管内)

○5月の輸出額(全国)は、9兆4,990億円で前年同月16.8%増加となった。

○5月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆824億円で前年同月比12.9%増加となった。

○中国向けは、全体で前年同月比17.8%増加となった。その内、電気機械で同25.6%、一般機械で同22.3%増加した一方で、輸送機械で同▲4.4%となった。

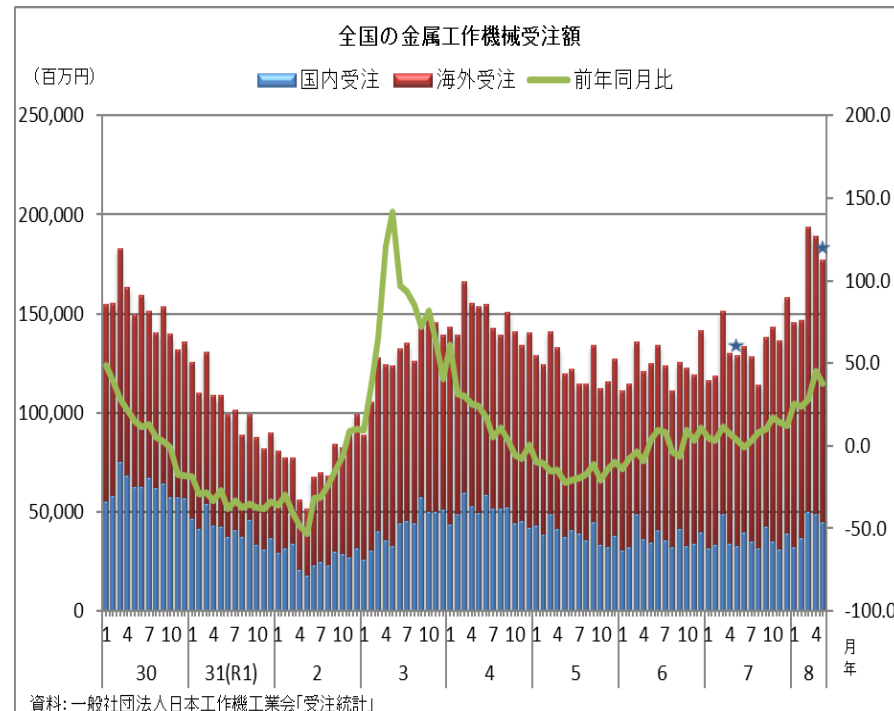
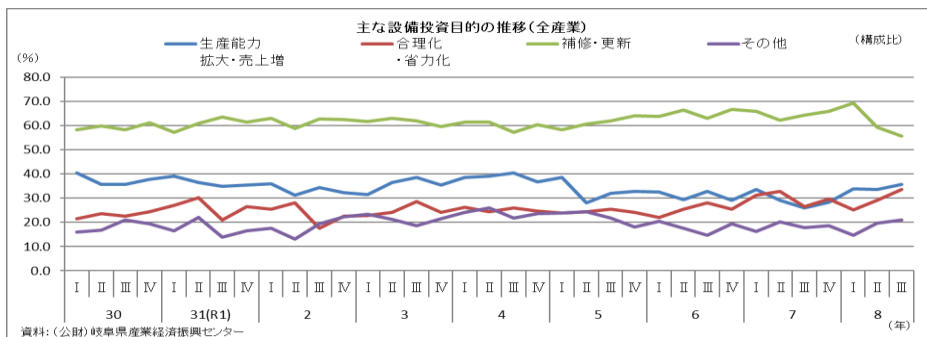
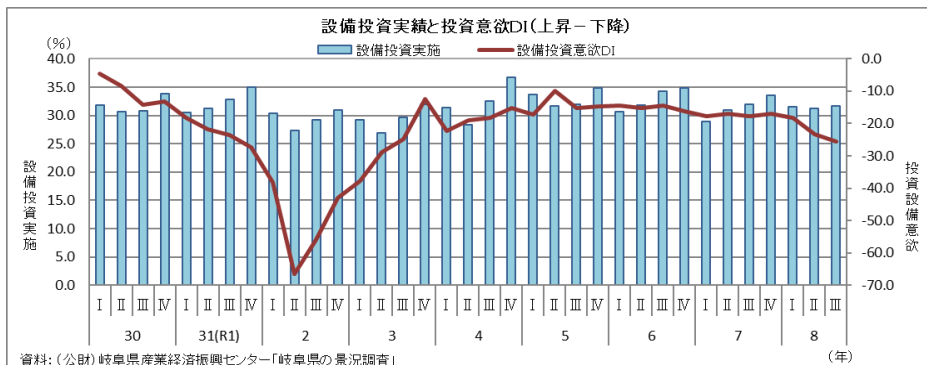
○アメリカ向けは、全体で前年同月比10.6%増加となった。その内、輸送機械で同24.2%、電気機械で同8.0%増加した一方で、一般機械で同▲13.3%となった。



設備投資

○7－9月期の設備投資実施見通しは前期比0.4ポイント上昇、設備投資意欲DI実績は同▲2.4ポイントとなった。設備投資実施見通しの目的別では「合理化・省力化」で前期比4.5ポイント、「生産能力拡大・売上増」で同2.1ポイント上昇、「補修・更新」で同▲3.5ポイントとなった。

○5月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比37.4%増加と11ヶ月連続で前年を上回った。内訳は海外受注は同37.7%増加と20ヶ月連続、国内受注は同36.4%増加と5か月連続で前年同月を上回った。



現場の動き

- ◆ 老朽化対策と省力化対策のため機械の全面入れ替えを実施中。(輸送用機械)
- ◆ 県補助金を活用し、工場内休憩室のリニューアルを行う計画をしている。(輸送用機械)
- ◆ 設備投資に回せる資金確保が難しい。(パルプ・紙)
- ◆ 中東情勢の先行き不安により規模の縮小や、投資を抑える動きがみられる。(金融機関)

中東情勢に伴う影響について

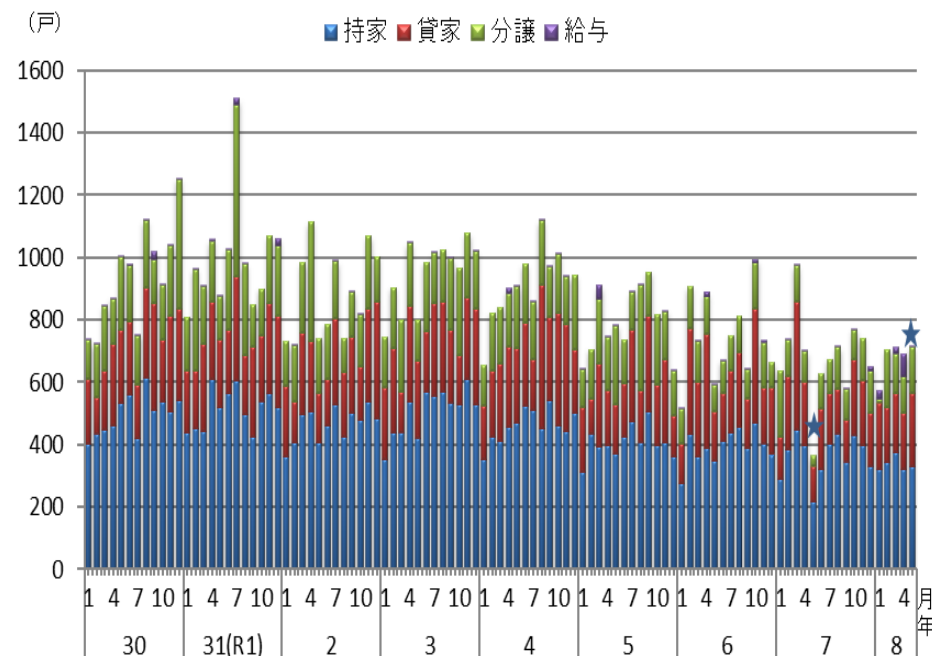
- ◆ 副資材である潤滑油や作業用ゴム手袋などの入手が困難になっていたが、少し落ち着いてきた。(輸送用機械)
- ◆ シンナーやエチレン樹脂等石油由来製品の供給は落ち着いてきており、発注した量が滞りなく入荷されている。(輸送用機械)
- ◆ ガス購入は供給先に拒否されたため、スポット購入から定期購入に切り替えた。購入単価は倍額となった。(輸送用機械)
- ◆ 燃料の高騰に影響している。多少目詰まりがあるように感じるが、滞ってはいない。(生産用機械)
- ◆ 中東情勢の緊迫化が続いたため、自動車部品が一部受注減となった。また、油脂関係は品薄により価格が高騰し、中には入手困難な物が出ている。(生産用機械)
- ◆ ナフサのことが懸念ではあるが、生産に対する影響は今のところない状態。(はん用機械)
- ◆ 購入品の値上がりによりコストが増えているので、今後は交渉を進めて価格転嫁を行う。(はん用機械)
- ◆ シンナーについては、グループ内で協力し補完している。(プラスチック製品製造)
- ◆ 工場で使用する機械油が手に入りにくい状態。(繊維・アパレル)
- ◆ ナフサ不足の影響で、ビニール袋の価格について全国一律30%以上の値上げが発表された。(食品)
- ◆ 電気、ガス価格の燃料調整費の上昇が見込まれ、負担が大きくなることが懸念される。(アクティブG)
- ◆ ナフサ不足により接着剤がなく、合板、集成材が集めにくい。(木工)
- ◆ 中東情勢の影響を見越し、資材を先行して押さえる対応をとっており資材の入荷遅れや工期遅れ等の影響はない。(木工)
- ◆ 建材メーカー、設備メーカーの受注停止は解消されているが、納期が延びる可能性がある。(木工)
- ◆ 合材、塗料、接着剤、塩ビ管などの流通が停滞しており、それに併せて価格上昇も激しい。流通が全くないわけではないが、少量または一定量しか入荷できず、適正な利潤にも今後影響が出てくる。(建設)
- ◆ 原油・ナフサ高騰による資材価格の上昇、海上輸送などの物流の遅れやコスト増加、それに伴う工期遅延や採算悪化等、建設業界に明確な影響がでている。(建設)

住宅・建築投資

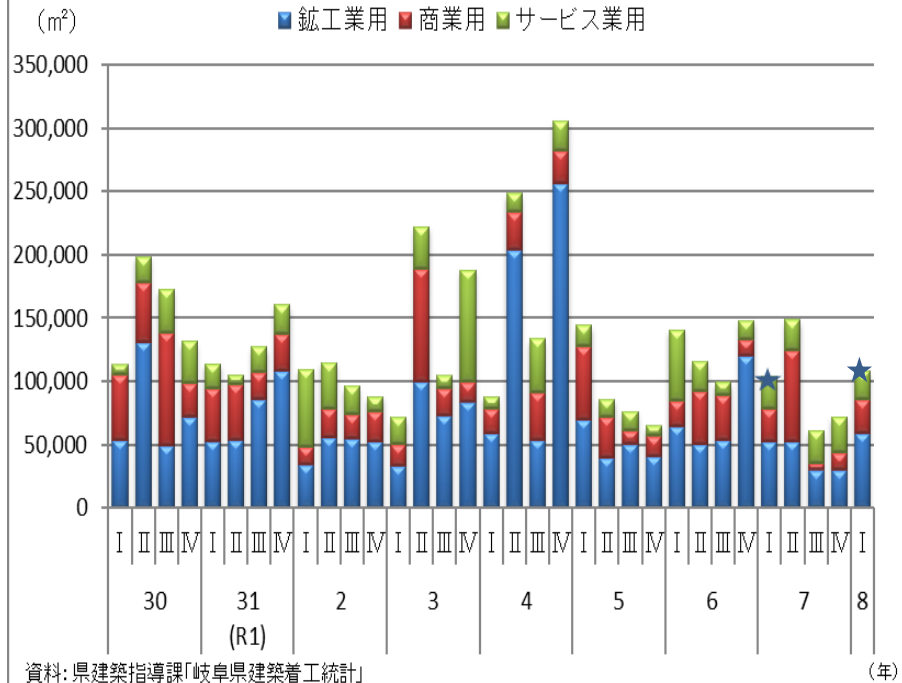
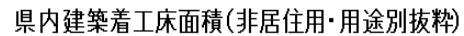
○5月の住宅着工戸数は、前年同月比96.7%増加となった。

○分譲で前年同月比348.5%、貸家で同106.1%、持家で同52.1%増加となった。

○1－3月期の非居住用の建築着工床面積は、
 鉱工業用で前年同期比13.8%、商業用で同
 0.7%上昇、サービス業用で同▲10.5%、全
 体で同46.2%上昇となった。



資料：県建築指導課「岐阜県建築着工統計表」



資料：県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

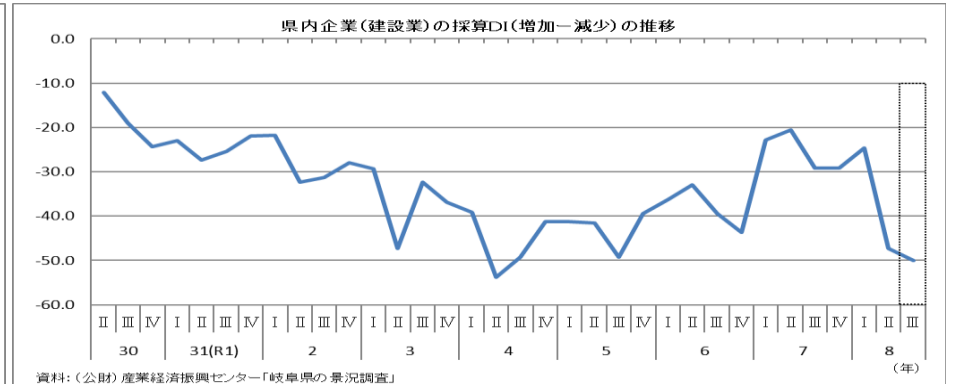
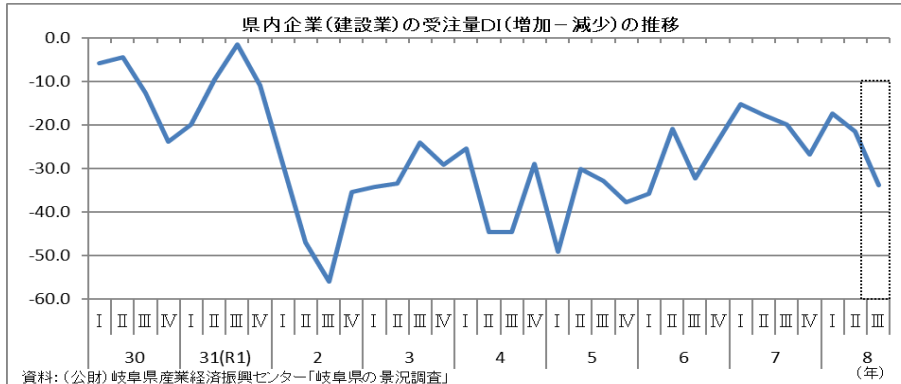
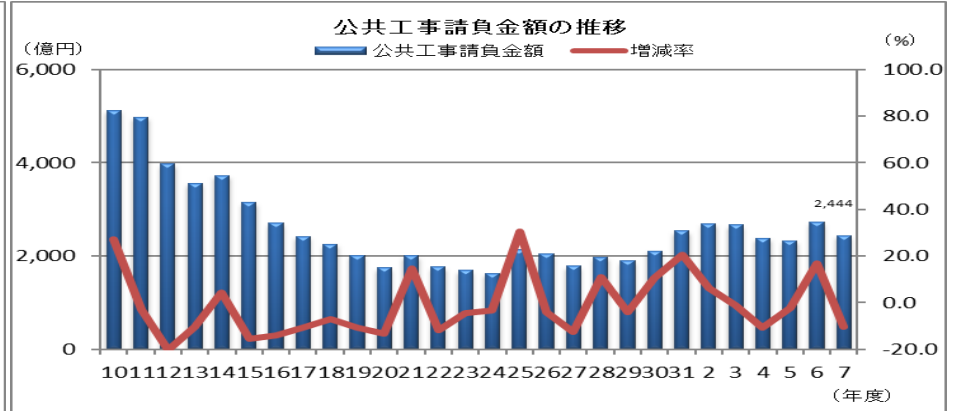
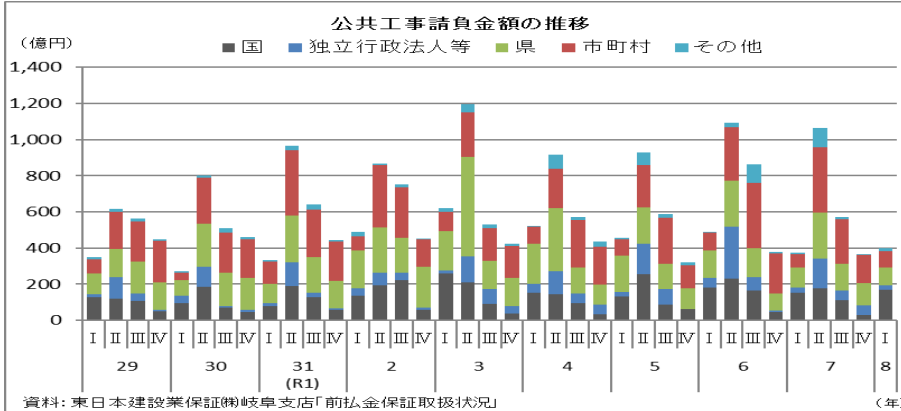
(年)

現場の動き

- ◆ 大手ハウスメーカーの住宅価格が異常に高くなっており、顧客の二極化が進んでいる。(木材)
- ◆ 原木供給が増加傾向だが、新設住宅着工件数が減少していると聞いており、実態との乖離が心配。(木材)
- ◆ ウッドショックの際は価格転嫁しなかったが、中東情勢の影響による価格上昇は価格転嫁せざるを得ない。(木材)
- ◆ 中東情勢の影響で住宅着工が遅れている。(木材)
- ◆ 乾燥機を2週間止めた影響で乾燥が間に合っていない。(木材)

建設工事

- 1－3月期の発注者別の公共工事請負金額は、国で前年同期比10.4%増加した一方で、独立行政法人等で同▲15.9%、県で同▲8.0%、全体で同6.9%増加となった。
- 県内建設業の7－9月期の受注量DI見通しは前期比▲12.2ポイント、同採算DI見通しは▲2.7ポイントとなった。



現場の動き

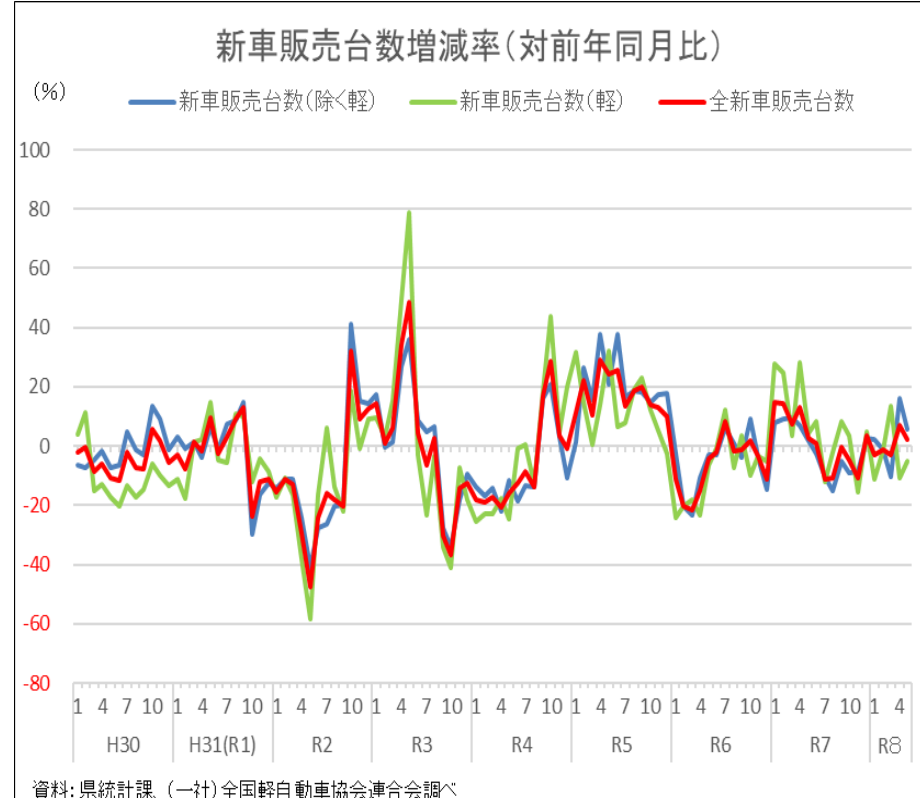
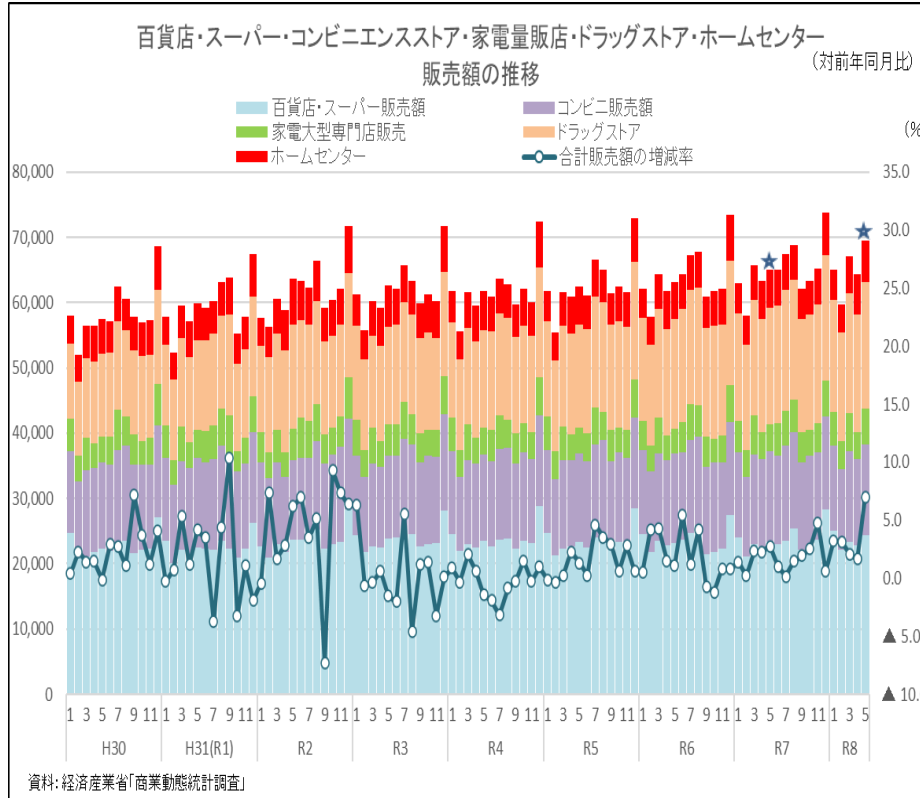
- ◆ 売上は現状を維持している状況であるが、物価上昇率を考えると実質的には現状維持とはいえない状況。
- ◆ 中東情勢の影響で合材、塗料、接着剤、塩ビ管などの流通が停滞し、併せて価格上昇も激しい。
- ◆ メーカーや仕入先から中長期的な価格見通しが提示されにくい状況で、見積時の価格設定に苦慮している。
- ◆ 発注件数の減少がみられ、建設業界の今後の動向について注視が必要。

(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○5月は家電大型専門店で前年同月比32.6%、ホームセンターで同10.4%、ドラッグストアで同8.5%、百貨店・スーパーで同4.2%、コンビニで同0.6%上昇となった。全体では19ヶ月連続となる7.0%の上昇となった。

○5月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比5.9%増加となった。軽自動車では同▲5.2%となった。合算では同2.1%と2か月連続で前年同月比を上回った。



現場の動き

- ◆ 5月単月では売上、客数が歴代最高を更新。
- ◆ 集客イベント開催による入館客の増加により、全館売上は前年超過。
- ◆ 売上、客数は前年を上回った。ただし、客単価は昨年割れの状況で当面続く見込み。

(以上、県内商業施設)

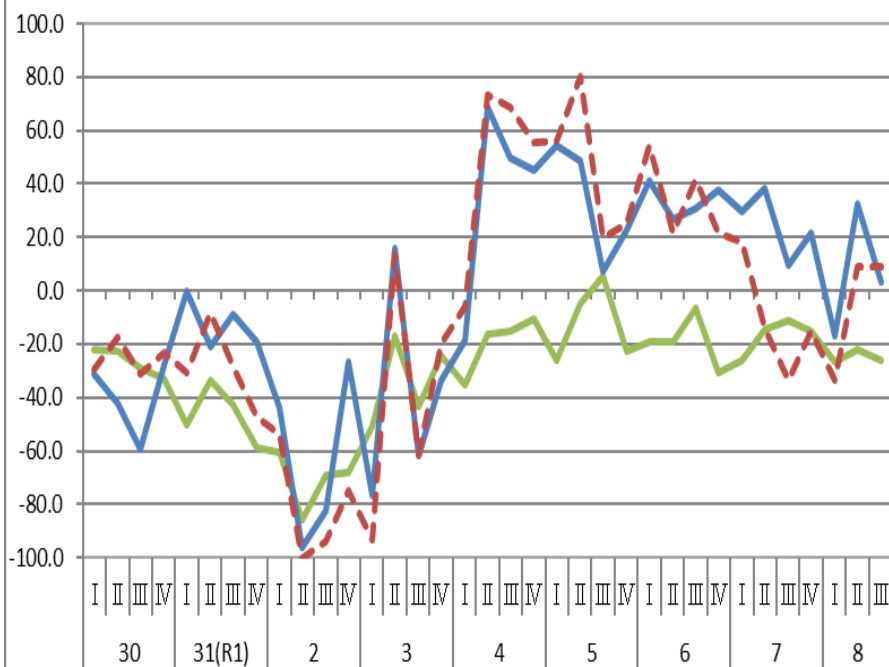
個人消費(流通・小売)－2

○7－9月期の売上高DI見通しは、飲食店で前期比横ばい、サービス業(余暇関連)で同▲29.1ポイント、小売業で同▲4.3ポイントとなった。

○同じく販売価格DI実績は、サービス業(余暇関連)で前期比▲18.8ポイント、小売業で▲9.4%飲食店で同▲9.1ポイントとなった。

県内企業の売上高DI(増加－減少)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店



資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

県内企業の製品販売価格DI(上昇－下降)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店



資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

現場の動き

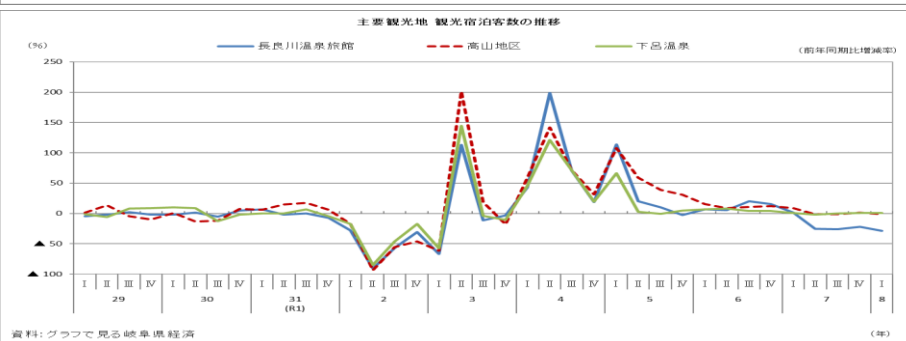
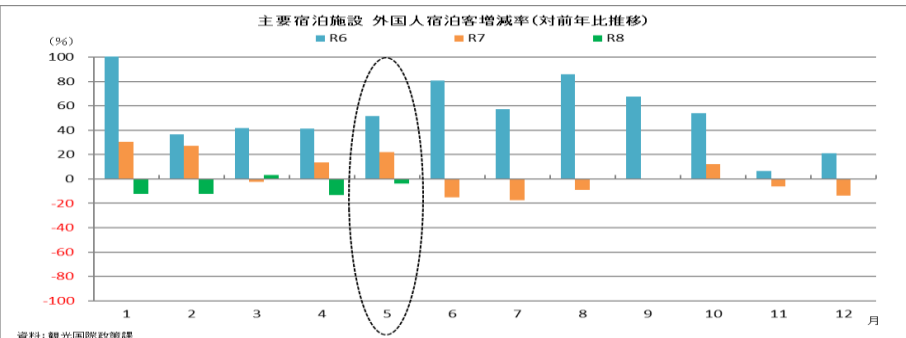
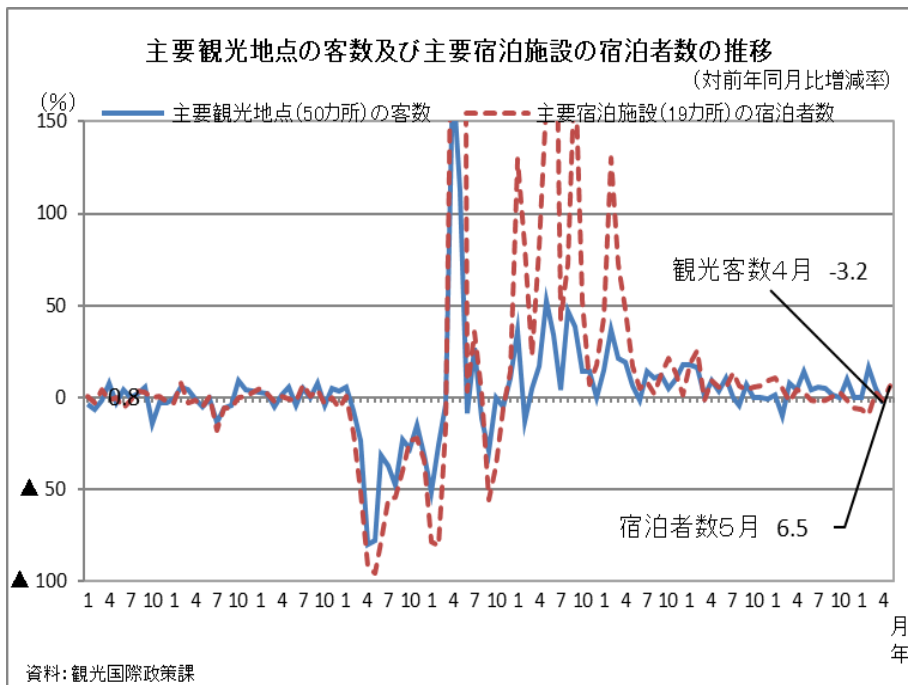
- ◆ 中東情勢の影響による不安要素が消費に影響しているようで、業況は低い状態が続いている。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 国際情勢や円安傾向により物価高も落ち着かず、値上げの波は一向に収まる気配がない。これ以上の価格転嫁は非常に厳しい。(高山市商店街)

観光

○主要宿泊施設における5月の宿泊者数は、前年同月比6.5%増、令和元年同月比では5.1%増となっている。

※主要観光地における5月の観光客数については、集計中。

○5月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、27.0%増となっている。

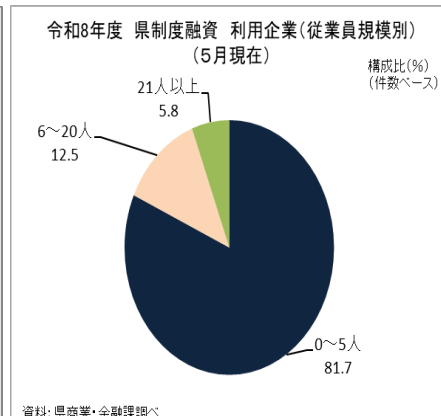
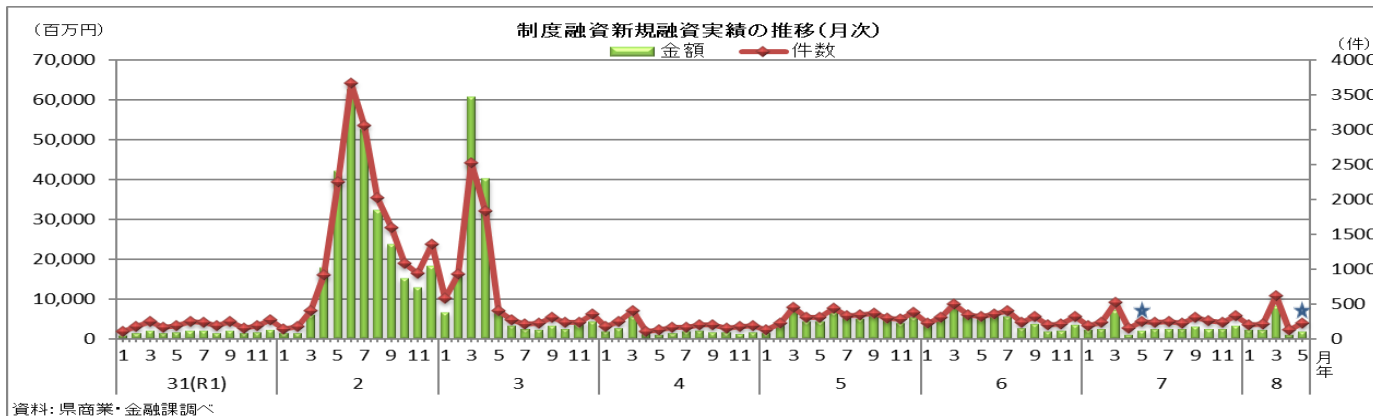
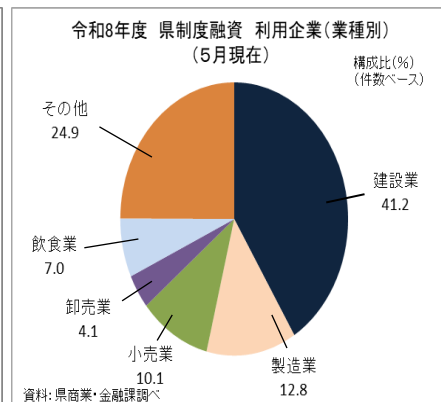
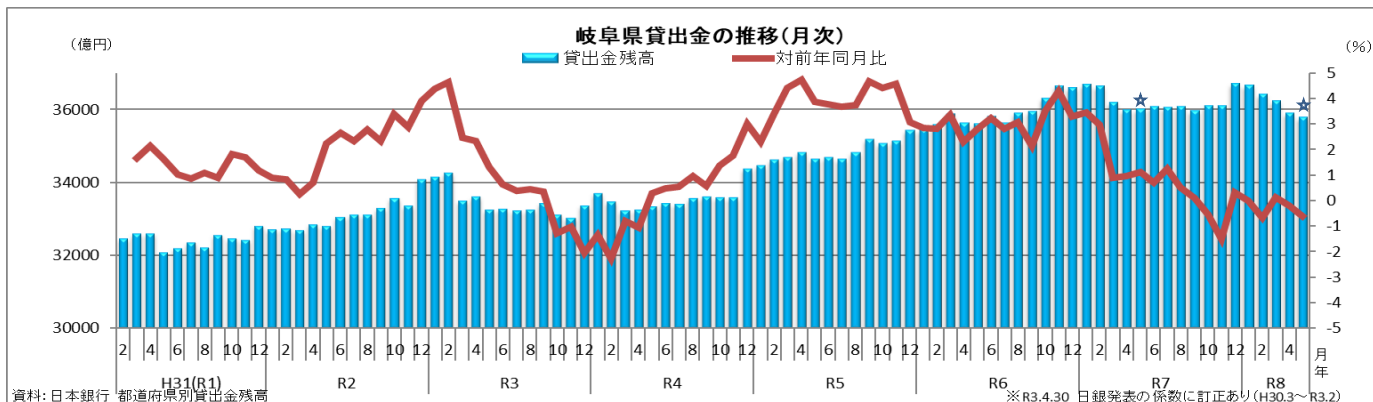


現場の動き

- ◆イラン情勢等の影響により、原材料等の高騰が続いている。(岐阜市、大垣市、高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化しており、日本人の人材確保が困難である。(高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆中国の渡航自粛による県内への影響について、県全体としては著しい影響は生じていないが、宿泊者数が落ち込んでいる施設もある。(高山市の宿泊施設)
- ◆インターネット予約が増加した。(岐阜市、美濃加茂市の宿泊施設)
- ◆海外からの団体客が好調である。(高山市の宿泊施設)

資金繰り

- 5月の岐阜県貸出金残高は、3兆5,789億円で前年同月比▲0.6%となった。
- 5月の制度融資実績は、金額が1,809百万円で前年同月比▲3.7%、件数は216件で同▲10.7%となった。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の81.7%を占めている。



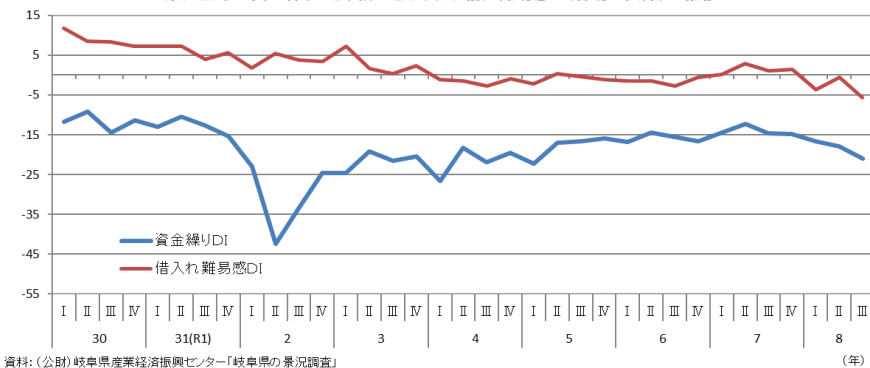
現場の動き

- ◆ 中小受託取引適正法が改正されたことにより、下請け企業の資金繰りが改善され、運転資金の需要が下がった。
- ◆ 中東情勢の影響で、原材料の調達難への懸念が高まっている。供給不足や価格上昇に備え、運転資金を前倒しで借り入れて原材料を確保する動きがみられる。

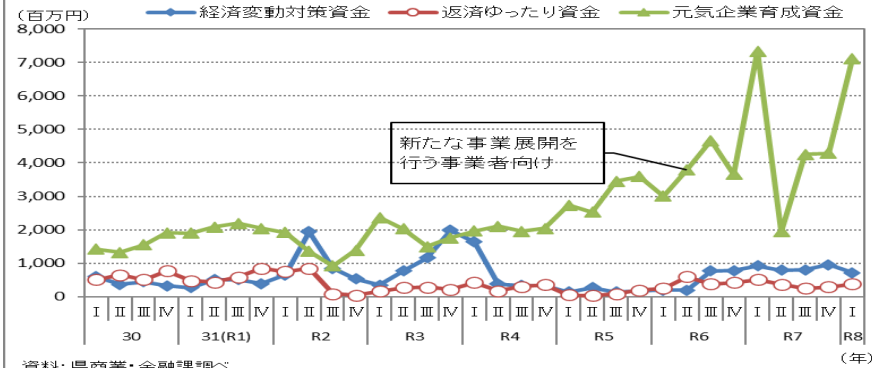
資金繰りー2

- 7－9月期の資金繰りDI見通しは▲20.9で、前期比▲3.0ポイントとなった。同借入難易感DI見通しは▲5.6で、前期比▲5.1ポイントとなった。
- 1－3月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比▲22.4%、返済ゆったり資金では同▲24.8%、元気企業育成資金で同▲3.0%減少となった。
- 5月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が2件で前年同月比▲71.4%、金額35百万円で同▲71.4%となった。
- 5月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は96件で前年同月比77.8%増加、金額は1,003百万円で同120.0%増加となった。

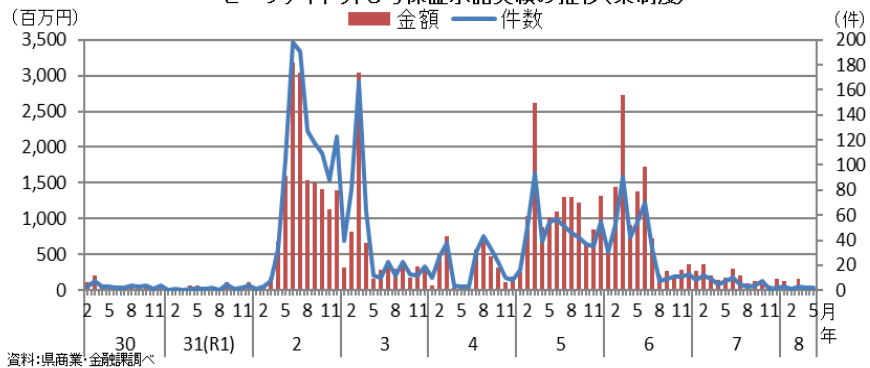
県内企業の資金繰りDI(好転－悪化)及び借入難易感DI(容易－困難)の推移



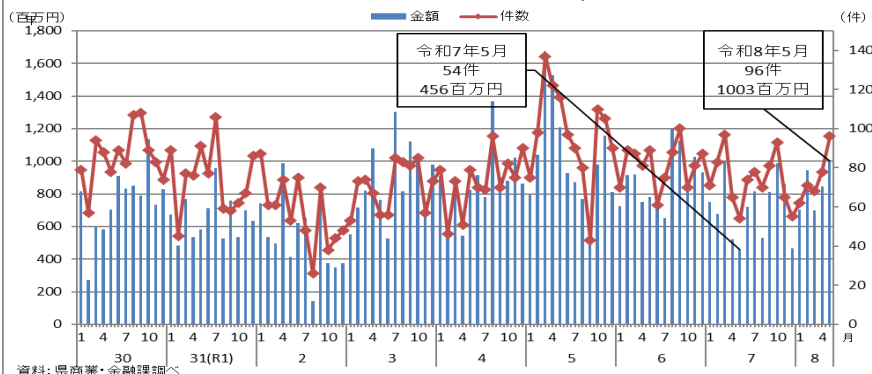
主要資金別新規制度融資額実績の推移



セーフティネット5号保証承諾実績の推移(県制度)

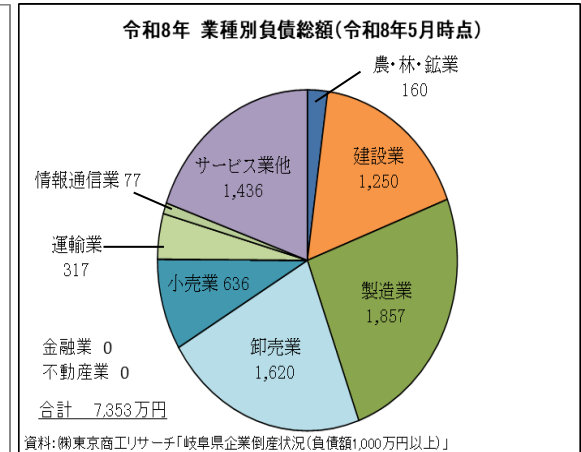
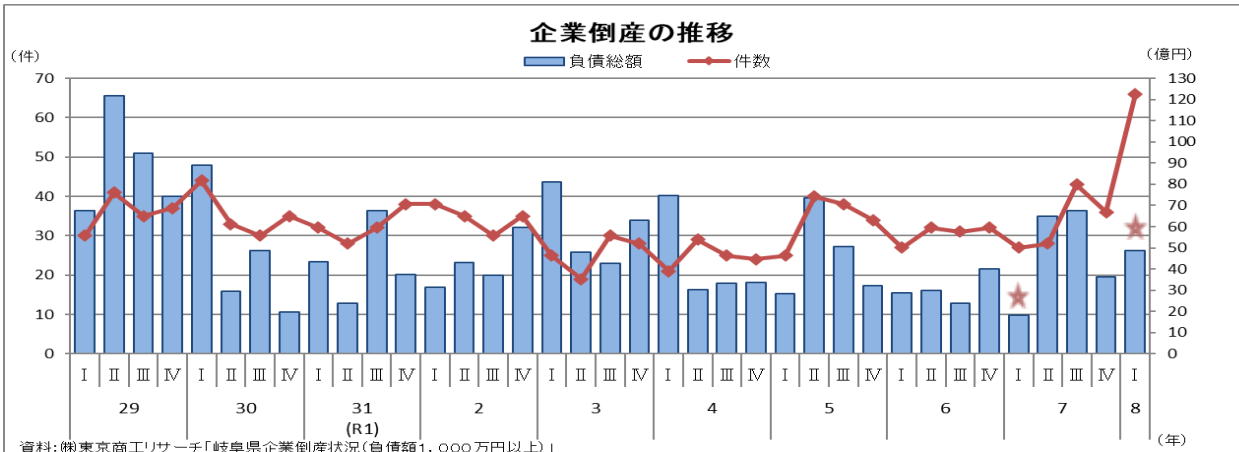
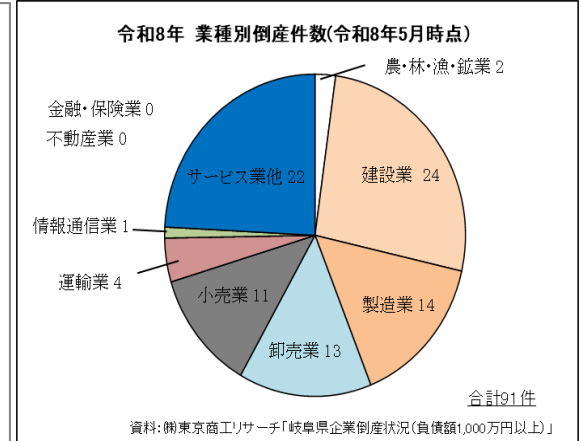
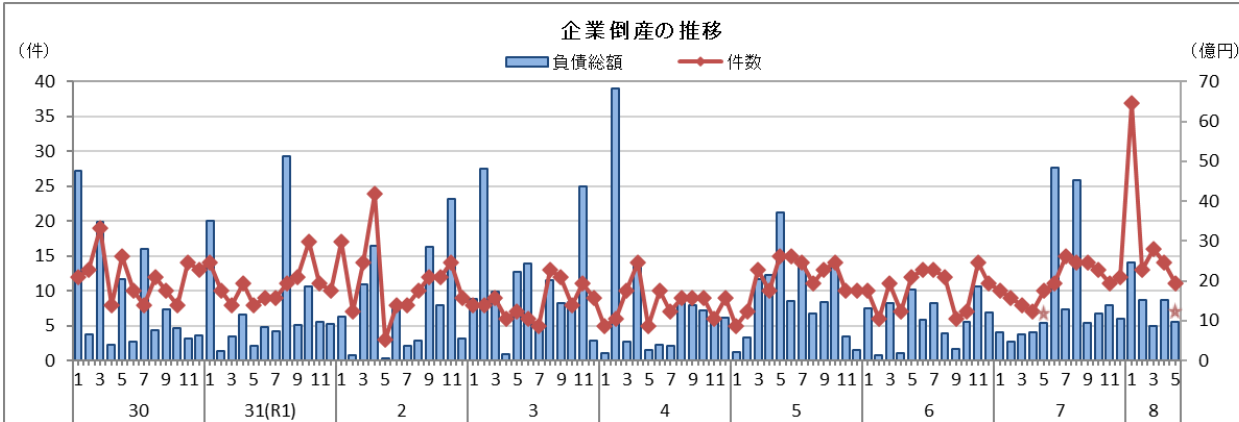


県信用保証協会 事故報告受付状況(毎月)



倒産

○5月単月の倒産件数は11件、負債総額は前月比▲561百万円減少し964百万円となった。
○令和7年5月は負債総額3億円以上の倒産が0件に対して、令和8年5月は同倒産1件となった。
負債総額は前年同月を21百万円上回った。



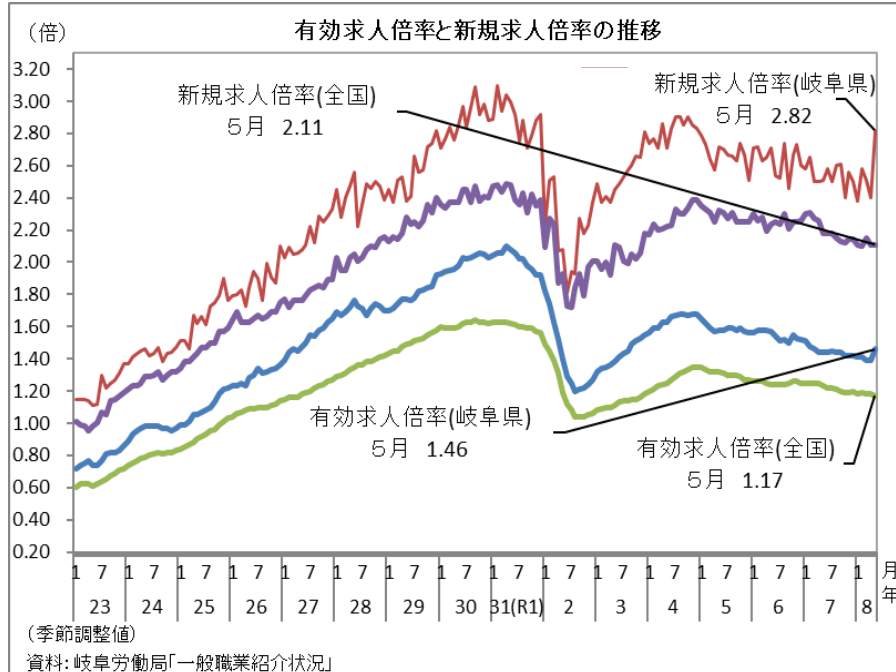
専門機関の分析(東京商工リサーチ・7月17日時点)

◆賃上げや物価高対策、成長投資が家計の実質購買力と企業活動を下支えし、景気の急速な悪化は避けられる模様にある。しかし、原油高に伴う仕入価格や物流費の上昇、長期金利の高止まりが設備投資や住宅投資の重荷となっており、急激な円安進行や海外情勢の不安定化も懸念材料となっていることから、今後も注視が必要。

雇用

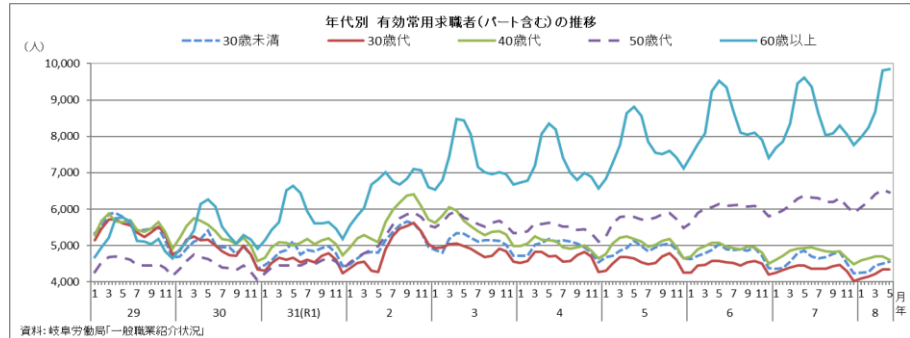
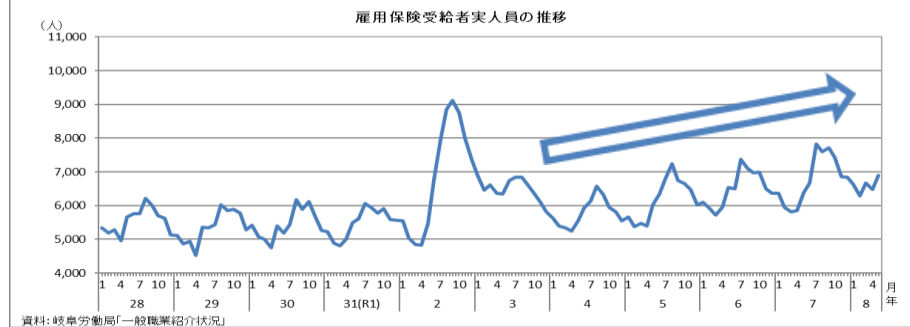
○5月の有効求人倍率は1.46倍と、前月比0.07ポイント上昇となった。

○5月の新規求人倍率は2.82倍と、前月比0.42ポイント上昇となった。



○5月の雇用保険受給者人員は、前年同月比8.0%増加している。

○有効常用求職者は、50歳代では39ヶ月連続で上昇、60歳代では9ヶ月連続で上昇した。



現場の動き

- ◆ 今年度の新卒採用人数は計画値を上回ったが、技能職については計画値を割る結果となった。新卒者の製造業、交替勤務離れは採用に影響する。(輸送用機械)
- ◆ 中途採用は引き続きパラパラと応募があり、人手が足りない状況ではない。(輸送用機械)
- ◆ 特定技能をメインにフィリピンから受け入れており、タイ国の大学とインターンシップに関して連携協定を結ぶべく活動している。(輸送用機械)
- ◆ 受注が停滞しており、一時の人手不足感はなくなっている。(繊維)
- ◆ 事務職の募集には応募があるものの製造現場の業務については人材確保が困難な状況。(食品)
- ◆ 人手不足はどの業種も慢性的であるが、建設業が特に人手不足が顕著である印象。(金融機関)

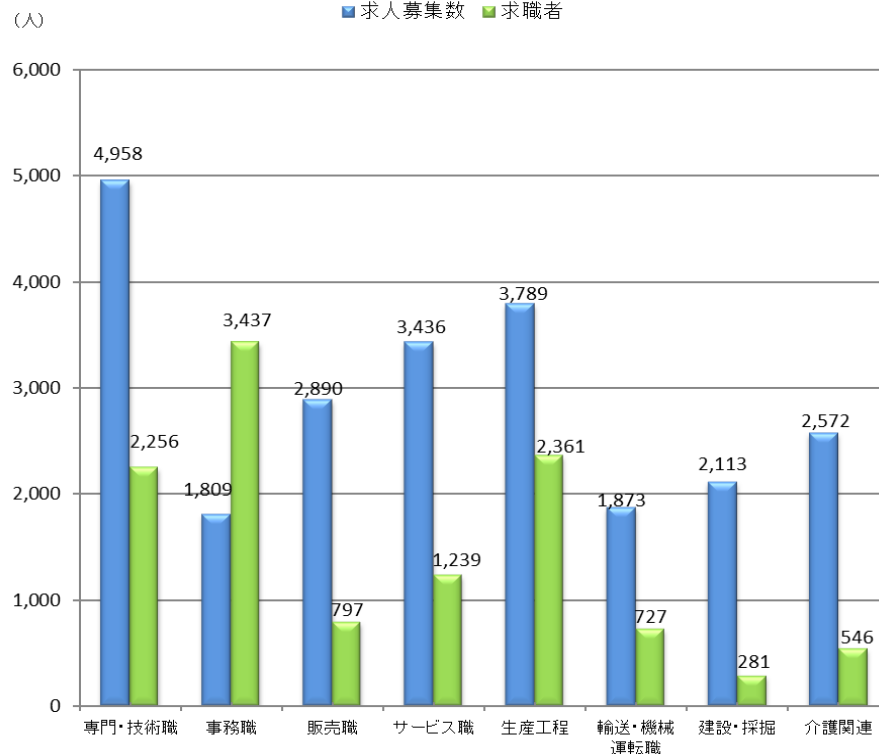
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で7.52倍、介護関連で4.71倍、販売職で3.63倍、サービス職で2.77倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.53倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

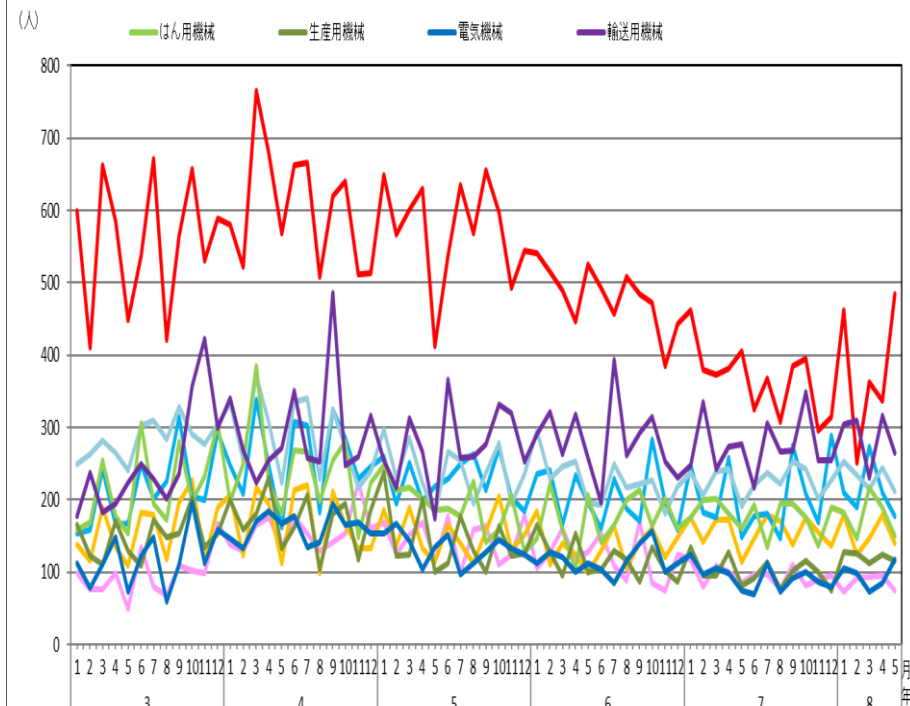
○5月の主要産業別の新規求人数は、電気機械で前年同月比57.3%、生産用機械で同41.5%、プラスチック製品で同21.9%、窯業・土石で同19.5%、食料品製造で同19.2%、金属製品で同11.0%増加した一方、繊維工業で同▲10.7%、はん用で同▲6.3%、輸送用機械で同▲4.3%となった。

5月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

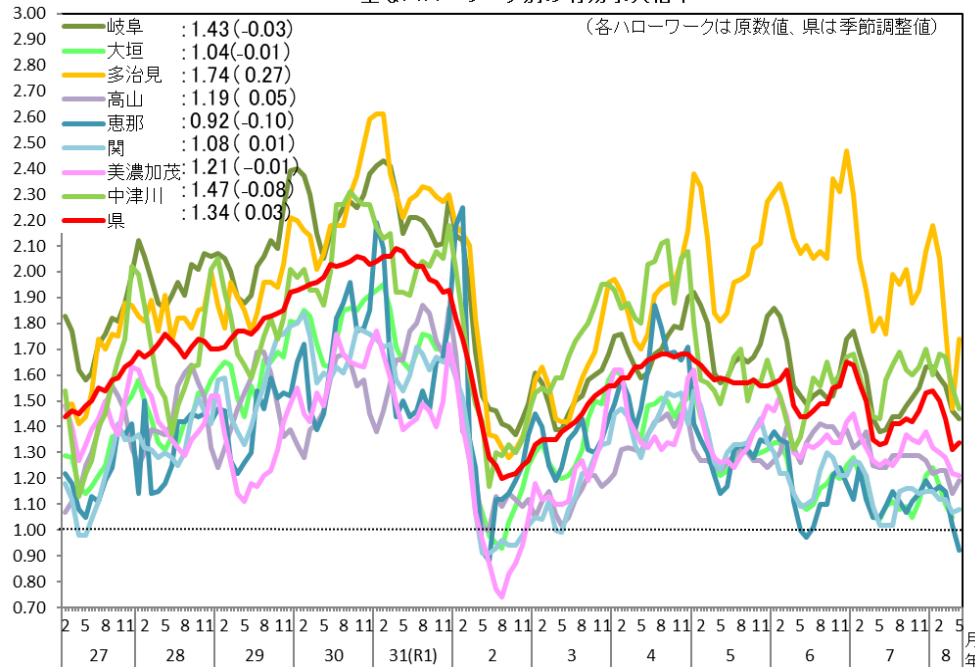
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇 用(地域別)

主なハローワーク別の有効求人倍率



注1: 大垣所分は揖斐出張所分を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所分を含む
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

○5月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、岐阜、大垣、恵那、美濃加茂、中津川で前月比減少となった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は増加、求職者数も増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<窓口の様子>※前月比

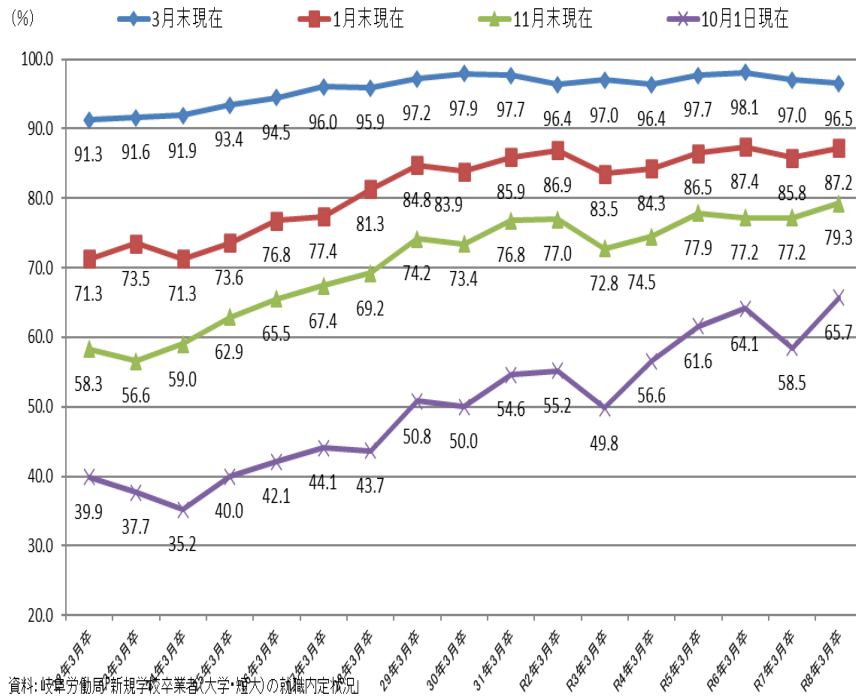
- ◆高山、恵那で混雑、岐阜で同じくらい、大垣、美濃加茂でやや空いている、揖斐、多治見、関、中津川で空いている状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

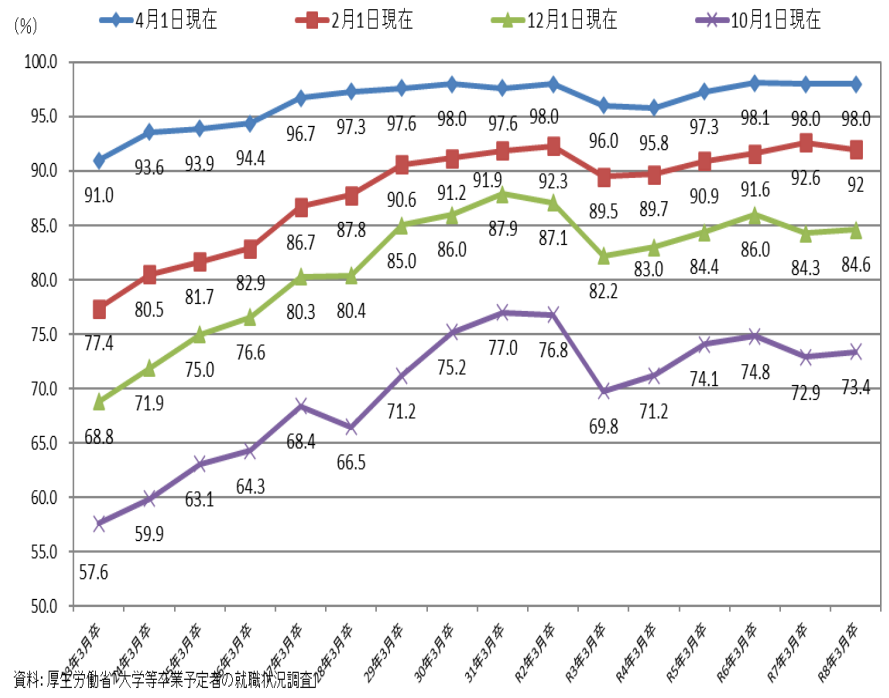
○岐阜県の令和8年3月末現在の大学・短大卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は、96.5%であり、前年同時点と比べ▲0.5ポイント減少となった。

○全国の令和8年4月1日現在の大学卒業者(令和8年3月卒業)内定率は98.0%であり、前年同時点と同率となった。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



現場の動き(2026卒、2027卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

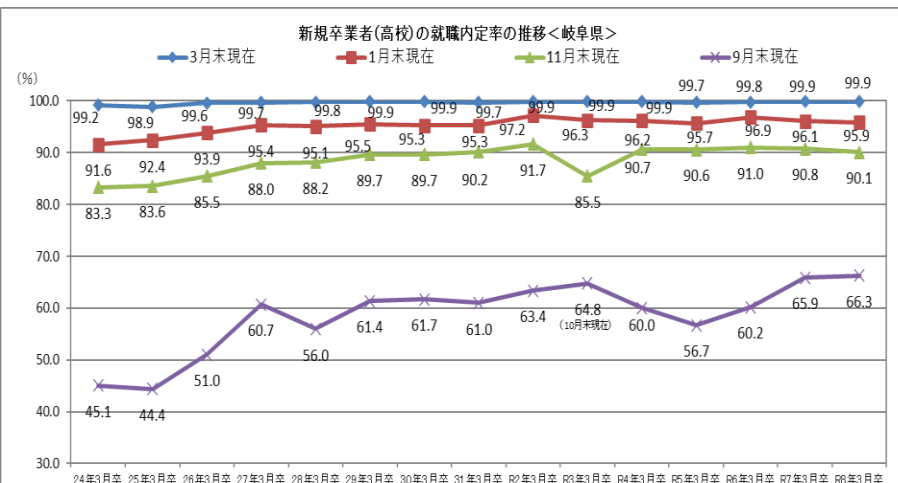
- ◆ 就職活動の早期化はある程度収束しており、2025年度と同じような行動様式となりつつある。そのため長期化も落ち着くと考えている。
- ◆ おおよそ8割程度の学生は内定をもらっている模様。

(以上、岐阜・愛知県内大学)

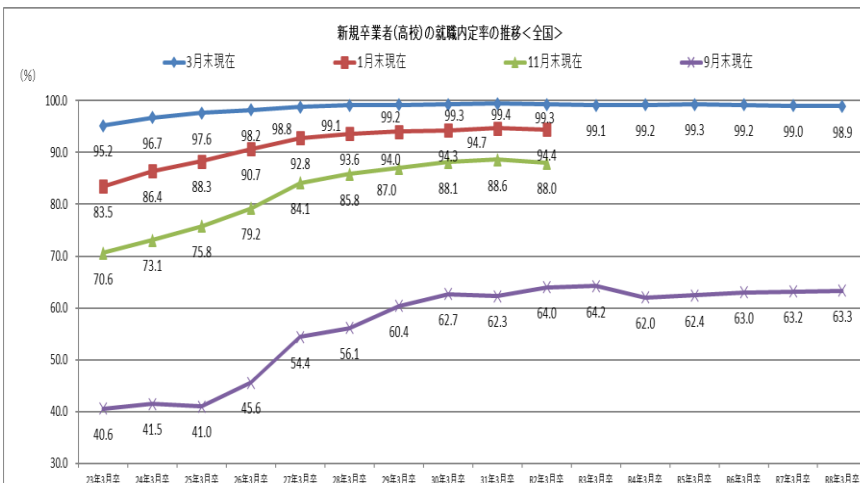
雇 用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和8年3月末現在の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は99.9%であり、前年同時点と同率となった。

○全国の令和8年3月末時点の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は98.9%であり、前年同時点と比べ▲0.1ポイント減少した。

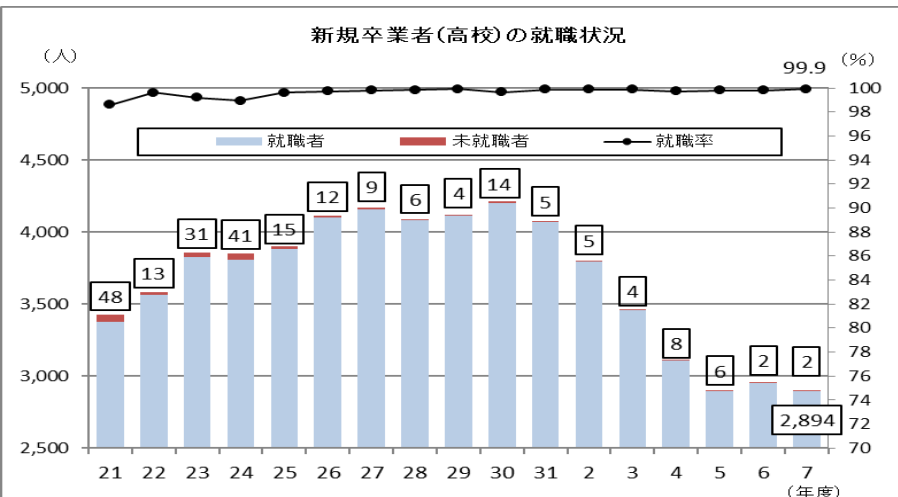


資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

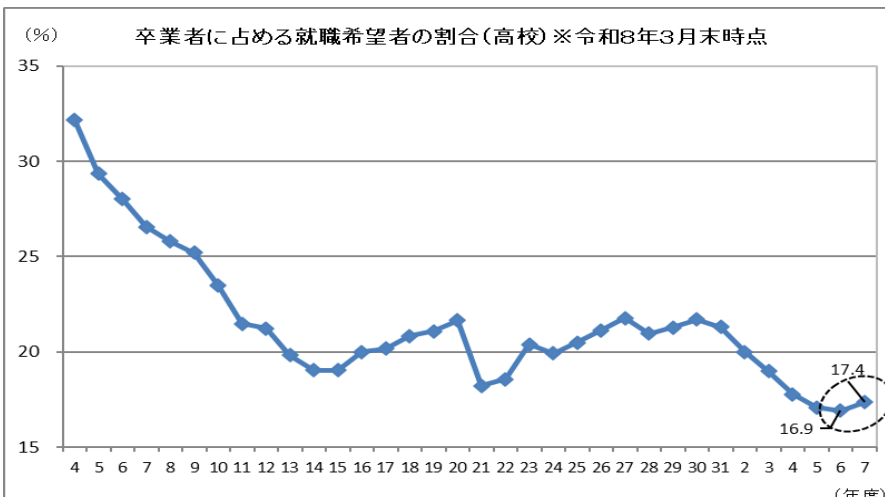


資料: 厚生労働省「高校・中学校卒業者の求人・就職内定状況等」

※38年3月卒から「11月末」及び「1月末」は集計していない。



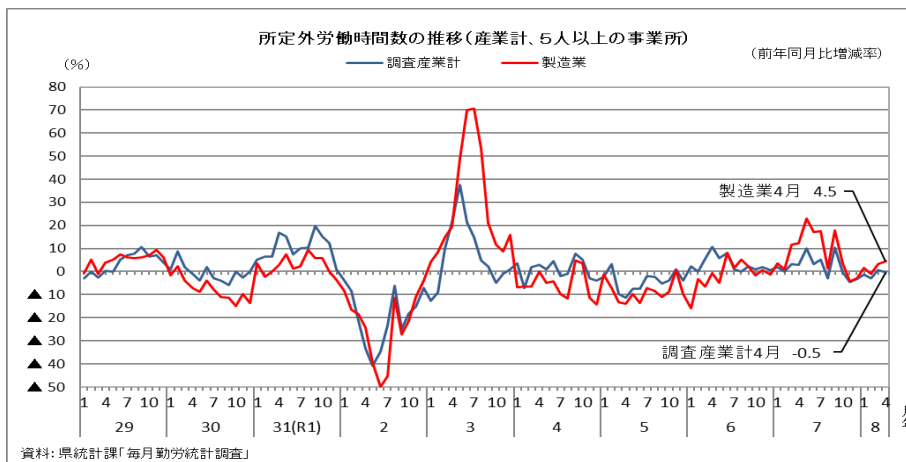
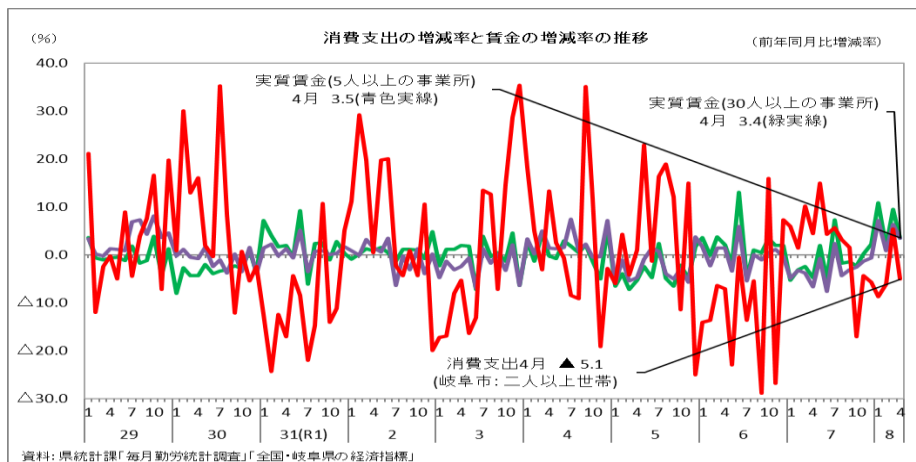
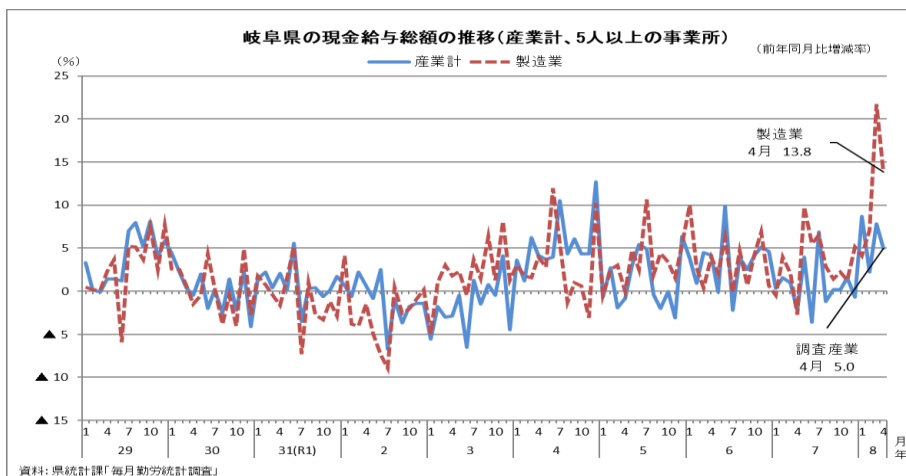
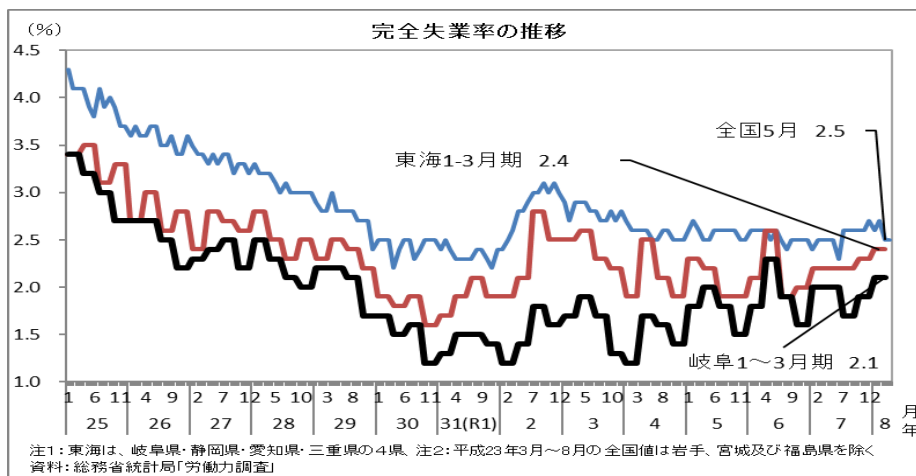
資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

雇 用(完全失業率等)

- 全国の5月の完全失業率は2.5%で前月比横ばいとなった。岐阜県の1-3月期の平均は2.1%で前期比0.2%増加となった。
- 4月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比5.0%、製造業で同13.8%増加となった。
- 4月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比3.4%増加、5人以上で3.5%増加となった。4月の消費支出については同▲5.1%となった。
- 4月の所定外労働時間数は前年同月比で▲0.5%となった。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、4月の鉱工業生産指数は前月比1.6%上昇となった。ヒアリングでは、AIやロボット、半導体の盛り上がりが必要となり、工業機械業界は好調との声がある一方、自動車部品については、業界自体の需要の低迷に加え、中東情勢の悪化により出荷や売上に影響が出ており、苦戦が続いているとの声も聞かれた。
- 地場産業は、4月の鉱工業生産指数は木材・木製品、パルプ・紙で下降した。ヒアリングでは、ここ数年間厳しい状況が続いた紡毛素材や丸編み関係に薄日が差しているといった声がある一方、海外の取引が多く、昨年の関税の影響から出荷が思うように行えていない状況で景況感が悪いといった声が聞かれた。
- 設備投資は、5月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比37.4%増加となった。ヒアリングでは、老朽化対策と省力化対策のため機械の全面入れ替えを実施中といった声がある一方、中東情勢の先行き不安により規模の縮小や、投資を控える動きがみられるといった声があった。
- 個人消費は、5月の販売額は、全体で前年同月比7.0%増加となった。ヒアリングでは、5月単月では売上、客数が歴代最高を更新といった声や、集客イベント開催による入館客の増加により全館売上は前年超過といった声があった。
- 観光は、宿泊者数は、前年同月を上回るなど、コロナ前と比較しても回復傾向にある。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、5月の制度融資実績は前年同月比▲3.7%となった。中小受託取引適正法が改正されたことにより、下請け企業の資金繰りが改善され、運転資金の需要が下がったとの声がある一方、中東情勢の影響で、原材料の調達難への懸念が高まっており、供給不足や価格上昇に備え、運転資金を前倒しで借り入れて原材料確保の動きがみられるとの声が聞かれた。
- 雇用面は、5月の有効求人倍率は1.46倍と前月比横ばいとなった。ヒアリングでは、中途採用は引き続きパラパラと応募があり、人手が足りない状況ではないといった声や、事務職の募集には応募があるものの、製造現場の業務については人材確保が困難な状況といった声が聞かれた。